

神奈川県立相模原支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を次の通り開催しました。

審議会等名称	令和6年度 神奈川県立相模原支援学校 第1回学校運営協議会		
開催日時	令和6年6月4日（火） 9:40～12:00		
開催場所	相模原支援学校 実習棟 2階 多目的室		
出席者	学校運営協議会委員7名（2名欠席）、本校職員：事務局12名		
次回開催予定日	令和6年10月22日（火）を予定		
問合せ先	神奈川県立相模原支援学校 副校長 鈴木 智子 電話 042-778-0818 FAX 042-778-4957		
下欄に掲載するもの	議事録	公開を概要とした理由	
審議・会議経過	<p>事務局）本日の日程・配付資料の確認、委員・事務局の自己紹介</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会長選出、会長・学校長挨拶 2 学校評価報告、グランドデザイン、4年間の目標と今年度の取り組みについて 教頭より説明 3 校内見学 4 協議（意見等） <p>【 学校評価部会 】</p> <p>○4年間の目標、ミッションについての質問や気づいた点について。</p> <p>▶そもそも『ミッション』とは何か。 ⇒かながわ教育ビジョンに基づき、県教育委員会が神奈川県教育についての指針を示すが、それを受けて各学校が学校や地域の特色等を加味して出した教育の方向性。</p> <p>▶シラバスに関しては、今年度具体化し、来年度に実施という理解で良いか。シラバスと年間計画の違いは何か。 ⇒シラバスを整理し年間計画、個別教育計画に活かす。年間指導計画は各学部の教科ごとの単元を計画したもの。シラバスはそれを段階的に一枚にまとめたもの。シラバスは毎年見直して改善していくイメージ。</p> <p>▶この地域の小中学校と相模原支援学校とでは、地元とのかかわり方が違う。学校がPRをするだけでなく、一緒に何かをすることで支援学校を地域に知っていただくことになると感じている。同じ地域と一緒に活動する仲間という意識が広がっていくと良い。 ⇒昨年度もごみ置き場のルール等一緒に取り組んできた。今年も広がっていいと思う。 ⇒地域という捉えが2種類あるように思う。一つは学校のある地域。もう一つは子どもの住む地域。両方の地域を捉えて考えていきたい。</p> <p>▶校内見学の感想として、高等部の生徒の挨拶が素晴らしかった。何でそうなのかと考えたときに、校内の先生方の挨拶だと感じた。学校に行くと先生方がいつも積極的に挨拶をしていて、生徒がその姿を見て学んでいる。</p>		

小学部の親としては、ただ毎日楽しく学校に通ってくれているということがありがたい。そう思っている保護者は多いのではないかと思う。そうなると小学部段階の保護者は、地域で生きていくというのはどういうことかと考えていくのはなかなか難しい。保護者の方に子どもたちの学校の様子を見ていただくのが良いと感じている。

▶教員が130名もいるのに驚いた。大変な仕事だと思う。どのような思いで毎日やっているのか。ストレスも多いと思う。先生方が楽しく働くということを持続していくのは大変。その思いを吸収しどう改善できるのか、先生たちの意見を聞きたい。

○各グループの今年度の取組について

▶BCPについて知りたい。BCPの設定は義務化されていないのか。企業と学校と福祉で連携してBCPに取り組むと良い。

⇒福祉避難所の協定を結んでいない。BCPに関しては、学校防災マニュアルや福祉避難所に関するマニュアルがあるが、実際にどう活用するのかは課題。災害時に問題になる下水に関してはペットボトルに水をためて貯蔵することや、簡易トイレの購入等計画中である。

⇒BCPに関しては気になる。災害時の児童生徒の安否確認、誘導、備蓄等、誘致から役割や体制をどう受けていくのか知りたい。同時に、子どもたちにどういう教育して身につけさせていくのか両輪で考えていく必要があると感じている。

▶犯罪や貧困、不登校等に焦点を当てた取り組みについて知りたい。

⇒犯罪に関しては学警連の会議が定期的であり、情報共有をしている。本校でどのような事態が想定されるかは、検討していく必要がある。またSNSに関しては授業の中で教えている。子どもたちが自分で自分の身をどう守るのかというところは支援していく必要がある。

⇒犯罪に関しては、子どもたちが自分で自分を守ることが大事。現時点では十分に意識されていないと感じた。今後意識して取り組んで行くと良い。この件に関しては2回目、3回目でも話題にできると良い。

▶マイクロバスが原当麻駅で停車し、駅から学校まで歩くという取り組みについては、ボランティアとの連携が必要になってくると思う。通学ボランティアとの連携を。

▶防災に関して「地域と一緒にやっていく」という事に関してどう考えているのか？相模原支援学校は『一次避難場所』になっている。風水害時の避難場所になるという話も教育委員会からあったが、話が終わってしまった。たくさんの避難場所を作る取り組みが必要。

トイレに関してはマンホールトイレというのがある。マンホールの中に貯めていく方法。一杯になったらマンホールを変えていく必要がある。マンホールトイレの認識を広めていく必要がある。

▶防災、防犯、避難所での過ごしについて等、子どもたちにどういう力を身につけさせていくかが大事。

○各学部の今年度の取組について

▶働くという事の捉えの整理は必要なかと思う。コンセンサスは取れるのか取るべきなのか。就業の準備の成果が高まっていないから就職できないではなく、どう高

	<p>めるのかという考え方も必要に感じる。アセスメントも必要。高等部での作業学習の効果を感じている。サポート校から来た人との差を感じる。</p> <p>▶1人1台は全生徒対象なのか？ 1人1台端末を使った授業や活用の様子を見てみたい。 ⇒全児童生徒対象である。</p> <p>▶高等部は6つの職業班があるとの事だが、ずっとそれはあるのか。どのように経験していくのか。 ⇒6つの職業班は長年ある。1年生は授業の中で本人の様子を見極めて教員が振り分けていく。基本的に年度ごとに班を変え、3年間で3つの職業班を経験していく。例外はありその子の特性によって、昨年度と同じ職業班を引き続き行うという場合もある。</p> <p>▶地域との連携を一緒にやっていく協働が大切。地域と学校ウィンウィンの関係が必要。</p> <p>▶地域全体で一緒に子どもたちを育てていく大切さを再認識できた。それにはまずは地域が支援学校を知ることが大切。地域に知らせるということをもう少しやっても良いかもしれない。</p> <p>【 切れ目ない支援部会 】 R5と同様に活動し、活動の報告をしていく。</p> <p>5 本協議会全体を通して 知ってもらうことがとても大切。一緒に取り組めることを本年度も相談させていただきたい。</p> <p>6 事務連絡 ・次回開催については、10月22日（火）午後を予定している。 ・12:00より食堂にて小学部の児童の食事の様子、高等部の配膳準備の見学と給食（配慮食含む）の試食。</p>
<p>会議資料</p>	<p>○令和6年度第1回「学校運営協議会」開催要項 ○神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則 ○神奈川県立学校に設置する学校運営協議会の運営等に関する要綱 ○学校運営協議会運営計画書 ○令和6年度学校運営協議会 委員名簿 ○学校教育計画（令和6年度～令和9年度） ○相模原支援学校グランドデザイン ○令和5年度学校評価報告書（実施結果） ○4年間のロードマップ ○4年間目標と1年間の取り組みの内容 ○令和6年度年間行事予定 ○パワーポイント資料 ○令和6年度相模原支援学校 学校運営協議会部会設置イメージ（案） ○令和6年度校内研修体系 ○令和6年度地域にじいろループ ○学校要覧</p>